

単元名 長崎から学び、考える

1. 単元の目標・ねらい

本年度の「L I F EⅢ」は、昨年度に引き続き、中学3年生の「選択社会科」において、2002年度からの「L I F EⅢ」の完全実施をめざして試行的に実施した。昨年度は、「地域」として「沖縄」を取り上げたが、本年度は「長崎」を取り上げた。本年度実施した「長崎から学び、考える」は、2002年度から完全実施する「L I F EⅢ」の単元1（昨年度の「沖縄」は単元2）に該当するものであるが、本来の「L I F EⅢ」とは、構成や内容において、若干の違いがある。

「長崎」は、キリシタンと南蛮文化、唐船の来航と大陸文化、開港と外国人居留地、原爆投下の悲劇と「平和」発信など、それぞれの時代が織り成す様々な要素が複合した国際都市である。それ故、このような“歴史の厚み”のある「長崎」には、魅力ある教科横断的な教材が開発できる可能性にあふれており、生徒たちの将来の「生き方」に示唆を与える時間と空間を超えた多くの《世界の課題》も見いだすことができる。また、「長崎」は以前から当校中学校3年生が西九州方面への社会見学旅行で訪れ、グループ別の自主研修を実施している町でもあり、体験的な学習場面をおりこみ、「長崎」の“歴史の厚み”を直に体感することも可能である。このようなことから、具体的な「地域」としてその「長崎」を取り上げて、体験的活動をおりこみながら、時間と空間を超えた《世界の課題》について「長崎から学び、考える」ことをめざす。

本単元は、1「長崎を知る」、2「長崎から学ぶ」、3「長崎から考える」の3つの小単元で構成している。小単元1では、「長崎」に関する基礎的な知識を、歴史と地理を中心に教師の説明によって習得しながら、生徒たちの「長崎」への知的な興味・関心を喚起し、次の小単元2での「長崎」探究の動機づけとする。小単元2では、グループ毎に「長崎」に関するテーマを追究し、その成果を社会見学旅行の導きとなる『長崎案内記』にまとめる。そして、これをテキストに学年全員で社会見学旅行の事前学習を行い、社会見学旅行にのぞむ。設定したテーマは、(a)長崎全般、(b)長崎と平和、(c)浦上とキリシタン、(d)出島・新地と異国文化、(e)大浦・山手と開国、(f)雲仙・阿蘇と火山の6つであり、(b)～(e)各テーマは社会見学旅行のグループ別自主研修の出発点(平和公園)～宿舎(大浦海岸)の順路に従って設定した。さらに、小単元3では、小単元2で学んだことを後づけながら、「長崎」が関係し発信している《世界の課題》や「地域」を探究する方法・「地域」からの歴史叙述について考え確認した。つまり、小単元1～3は、「探究の動機づけ」→「探究」→「メタ探究による探究の確認」となっている。このような・小単元1～3の展開を通して、以下のことをめざした。

小単元1のねらい

- 「長崎」という「地域」に関する基本的知識を習得するとともに、「長崎」に対する関心を深め、意欲的に科学的探究を行う態度を育てる。

小単元2のねらい

- 「長崎」という「地域」を説明する概念的知識を習得するとともに、問題を解決したり、課題を追究したりする方法を習得する。

小単元3のねらい

- 「地域」としての「長崎」が関係したり、発信したりしている「地域」を超えた「人間と社会に関する普遍的な問題」について考え確認する。

2. 評価の方法・観点

本単元の目標達成の成否は，1 探究に際しての生徒たちの探究するテーマへの関心とその探究の意欲，2 探究活動の質，3 探究の成果としての『長崎案内記』に集められた知識のレベルとその発表，の3つの断面の状況ではかることができる。評価はそのような3つの断面の状況に対応して，《関心・態度》《試行・技能》《知識・表現》の3つの観点から，以下のように行った。より高いレベルの探究を行うため、『情報整理票』を活用する。『情報整理票』は，下の《思考・技能》のi)～v)に示した通りであるが，適宜それを通して指導しながら，探究の方向を見定めその成果をまとめさせた。

- 1 《関心・態度》意欲をもって創造的な探究に取り組み，関心を深めることができたか。

小単元1の学習状況（ワークシート），毎時間の生徒の活動状況を教師が観察する。

- 2 《思考・技能》情報を収集・整理し，分析・吟味することができたか。

探究に際して，収集した情報について，i) 収集のねらい，ii) 収集の方法と出所，iii) 収集した情報，iv) 情報の吟味・分析，v) 新たな疑問，などを記入させ，それを教師がチェックし探究の質を，以下のことを評価する。

- ① 的確な情報を効率よく収集しているか
- ② 収集した情報は正確か
- ③ 収集した情報を多面的に吟味・分析しているか

- 3 《知識・表現》情報をまとめ・説明し，表現・伝達することができたか。

『長崎案内記』の内容とその発表について，以下のことを教師が評価する一方，生徒同士でも評価させる。

- ① 論旨は明確か
- ② 興味や理解を促す適切な工夫がされているか
- ③ 十分に吟味・分析された内容か



長崎自主研修（新地・中華街）



『長崎案内記』表紙（作・長澤亜紗美さん）

3. 単元計画 1. 「長崎」から学び、考える (配当時間 計17時間)

題目(配当時間)	学習内容	指導上の留意点
(1)「長崎」を知る (6時間)	①遠藤周作『沈黙』を読む。 ②長崎の地理 長崎県、長崎市の地理と地形 ③長崎の歴史 長崎開港～明治初までの歴史 近現代の長崎の人口の変遷 ④まとめとテーマの設定 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> i)長崎全般、ii)長崎と平和 iii)浦上とキリシタン iv)出島・新地と異国文化 v)大浦・山手と開国 vi)雲仙・阿蘇と火山 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年時三学期の課題図書として、長崎を舞台にした『沈黙』を、学年全員に読ませる。 ・ワークシートや地図で作業学習し、長崎の大陸に近い立地条件を確認する。 ・長崎年表を作成しながら、中央史とのかかわりで、海外交易とキリシタを中心に前近代の長崎の歴史を概観する。 ・「異国文化」「平和」をキーワードに、「長崎」についてまとめ、「長崎」への興味・関心を深め、社会見学旅行の自主研修の順路に従って、i)～vi)を提示し、その内容を説明する。
(2)「長崎」から学ぶ(8時間)	①テーマの選択とグループ分け、探究計画の立案 ②テーマの探究 ○テーマに関する情報を収集し、収集した情報を『情報整理票』を活用して整理し、吟味・分析する。 ○『情報整理票』をもとに、プロットを作成する。 ③探究のまとめ(『長崎案内記』の作成)と探究の報告会 ④社会見学旅行の学年事前学習会 ⑤フィールドワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・希望により6つグループに分け、情報収集の方法・仕事の分担などを確認させ、計画書を作成させる。 ・『情報整理票』には、以下を記録する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> i)収集のねらい ii)収集の方法と出所 iii)収集した情報 iv)情報の吟味と分析 v)新たな疑問 </div> ・『情報整理票』をチェックし、適宜探究の方向を軌道修正。 ・興味をわく、理解しやすい工夫を助言する。 ・8月7日、社会見学旅行自主研修。
(3)「長崎」から考える(3時間)	①「地域」から「世界の諸課題」へ ②「地域」探究の方法 ③「地域」からの歴史叙述	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの探究を振り返り、直観的気づいているであろう①～③について考えを深め、「地域」を学習することの意味を確認する。

評価の観点と方法	教科学習とのつながり
<p>□ 観察による知識・思考の評価 長崎の地理と歴史に関する情報を習得し、長崎の個性に気づいたか。</p> <p>□ 観察による関心・態度の評価 長崎に関心をもち、探究の意欲が出てきたか。</p>	<p>* 教科から「総合的な学習」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」(国語) ・「読図の技術」 ・「自然環境から見た地域の特色」「都道府県 (以上, 社会科地理) ・「身近な地域の歴史を調べる」(社会科歴史) <p>* 「総合的な学習」から社会科歴史へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中央中心の通史に対する地方史の見方」
<p>□ 『情報整理票』をもとに、思考・技能を以下の観点から評価。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①的確な情報の効率的な収集。 ②収集した情報の正確さ。 ③情報の多面的な吟味・分析。 <p>□ 『情報整理票』をもとに、関心・態度を以下の観点から評価。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①意欲的な情報の収集。 ②意欲的で適切な情報の整理。 <p>□ 『長崎案内記』をもとに、知識・表現を以下の観点から評価</p> <ol style="list-style-type: none"> ①論旨の明確さ。 ②興味や理解のための適切な工夫。 ③十分に吟味・分析された内容。 	<p>* 教科から「総合的な学習」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報の収集・整理能力」(各教科) ・「情報を吟味・分析する能力」(各教科) ・「自然や社会的事象への関心」(社会科) <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」(国語・LIFE I) ・「資料の活用」(社会科) ・「聞くこと」「話すこと」(国語) ・「博物館・郷土資料館の活用」(社会科)
<p>□ 「長崎から学び、考えたこと」という文章を書かせ、到達した知識のレベルを評価する。</p>	